



11分団2部が県大会へ

7/1 松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会

松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会が7月1日、三郷文化公園などを会場に行われました。この日、市消防団からポンプ車操法と小型ポンプ操法に各2チームと音楽喇叭隊が出場。仕事の傍ら練習に励んできた選手の皆さんが、操作の迅速さ・正確さなどを競い合いました。

結果は、ポンプ車操法の部で第11分団第2部（穂高有明）が優勝し、7月29日に上田市で行われる長野県消防ポンプ操法大会へ出場します。また、その他の部門でも3チームが入賞を果たしました。



市民の力でアレチウリ駆除

7/8 市内各地でアレチウリ一斉駆除

従来の生態系に悪影響を及ぼす特定外来生物アレチウリの一斉駆除が7月8日、豊科地域を中心に市内一斉に行われました。市では昨年、豊科地域をモデル地域に、本年は全市で各区と協力し駆除を行っています。このうち徳治郎区では犀川河川敷内の水辺マレットゴルフ場周辺で区民やボランティアの皆さん約50人が作業をしました。区長の栗山常雄さんは「昨年は3回作業を行い、今回はかなり量が減りました、駆除には手間と時間がかかるので、ぜひ、大勢の市民の皆さんに参加してほしい」と話しました。

初夏の安曇野を彩る

6/30 第28回信州安曇野あやめまつり

第28回信州安曇野あやめまつり（あやめまつり実行委員会主催）が、6月20日から7月1日まで龍門湖公園・あやめ公園で開催されました。本年は雨が少なくやや開花が遅れたものの、約70種類5万株の色とりどりのハナショウブが咲き誇り、初夏の安曇野を彩りました。

6月30日には、メインイベントが行われ、あやめ公園特設ステージでは、今回初めてニジマスや白鳥などの絵柄の巨大壁画を制作した地域住民の皆さんを紹介するコーナーや明科中学校吹奏楽部の演奏のほか、キッズダンスなども披露されました。また、龍門湖公園では、野だてやニジマスのつかみどりが行われ、多くの人でにぎわいました。

なお、会場内の特産品売り場には、募金箱が設置され、集まったお金は、今後ハナショウブの育成に役立てられる予定です。



安曇野市民スポーツ祭始まる

6/24 市民スポーツ祭総合開会式

第3回安曇野市民スポーツ祭（市、市教育委員会、市体育協会主催）の総合開会式が6月24日、堀金総合体育館で開かれました。このイベントは、スポーツ振興を図ると同時に、市民の連帯感をはぐくもうと始まったもので、今回で3回目を迎えます。当日は開会式と合わせて、ワンバウンドふらばーるバレーによるスポーツ交流会や体力測定、ニュースポーツ体験などが行われ、幅広い年代が参加できるスポーツに、約450人の参加者が汗を流しました。三角形の楕円ボールを使ったワンバウンドふらばーるバレーに参加した小口稔さん（穂高）は、「健康づくりになればと5年ほど前から始め、今も週に2回ほど仲間と気軽に楽しんでいます。6人集まればプレーできるのでおすすめです」とその魅力を話していました。市民スポーツ祭は、17種目の競技会に分かれ、7月から12月に掛けて市内各地で行われます。

あま〜い新玉ねぎの収穫体験

6/16 安曇野とよしな玉ねぎ祭り 2012

安曇野とよしな玉ねぎ祭り（実行委員会主催）が6月16日と17日の2日間、豊科地域を中心とした11会場で行われました。堀金中堀の会場では、朝8時の開場と同時に市内内外から訪れた大勢の人でにぎわい、参加者は、土から掘り起こした玉ねぎの葉をハサミで切り落とし、20*10グラム入りの袋に詰め込んでいました。家族で参加した西沢由紀さん（大町市）は「収穫会場がたくさんあるので、毎年場所を選んで参加しています。今年の味が今から楽しみです」と収穫を喜んでいました。



安曇野の歴史を学ぶ

7/11 「水が織りなす安曇野の今昔物語」講座

市教育委員会・中央公民館が主催する安曇野市の歴史・文化・伝統に関する講座（全7回）の1回目の講義が7月11日、穂高交流学习センター「みらい」多目的交流ホールで開催されました。この日は、市民84人が参加。講師に地域史研究家の中島博昭さんを迎え、人物編「江戸から明治時代」と題し、多田加助、藤森善兵衛ら安曇野の礎を築いた人物について学びました。中島さんは「歴史を学ぶ上では、頭の中で安曇野の風景を描き、実際に現地に行き心に刻むことが大切です」と話しました。

この講座は、来年1月に開催される安曇野検定の準備講座に位置付けられています。また、同検定関連の講座「自然科学編」（全10回）も7月19日から開催されています。